

# 1 安全に関する注意事項

この取扱説明書は、ヒットエア-エアバッグシステムを、安全かつ適切にご利用頂くために、必ずお読みください。また、いつでも読めるように、大切に保管してください。

取扱説明書で使われるマークは、次の状況を意味します。

**警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が外傷を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

**警告** 1. ヒットエア-は、バイクに乗車の際に使用するもので、救命衣等、他の利用は出来ません。

**警告** 2. ヒットエア-は必ず、上衣として、サイズのあったものを着用して下さい。着用の際は前面のバックルやファスナーを閉めて使用ください。バックルやファスナーを閉じず使用した場合は正しく機能しません。レインウェア着用の際にも、レインウェアを着用した上に、ヒットエア-を着用して下さい。

**警告** 3. 使用済のカートリッジポンペを取り替える際は、モデル指定のサイズ(容量)のヒットエア-製CO2カートリッジポンペを使用下さい。封板(底部/ネジ部先端)に穴が開いていないことを確認してご使用ください。

**警告** 4. ヒットエア-内蔵のパーツを分解しないで下さい。改造や不正使用などは製品の機能を著しく損なう恐れがあります。キーボックスのキャップ部分(ポンペが挿入される部分)を取り外さないでください。キャップがキーボックスに固定されていない場合、キーボックスは使用できず、万一その状態でキーボックスを動作させると使用者が怪我をする恐れがあります。

**注意** 5. ヒットエア-を着用する場合は、下に着ている衣類の中に、突起物、鋭利な物は入れないで下さい。着用前には必ず取り外して下さい。(例: ビン留めした名札、バッジ、ペン、ネクタイピン等) 作動時及び、作動後も気室(エアバッグ)を傷つけ、正常に膨らまない場合があります。

**注意** 6. ヒットエア-の取扱時は、火気厳禁して下さい。タバコ等が原因で、穴があいたり、破れたりした場合は使用できません。又、ヒットエア-製CO2カートリッジポンペを内蔵しておりますので、使用時、保管時ともに40°C以下での使用に限ります。高温になると破裂の危険があります。

**注意** 7. ヒットエア-に、針を通したり、エンブレム等の縫付けやアイロンの使用はおやめ下さい。内部の気室を傷つけ、正常に作動しない場合があります。エンブレム等の取付可能な位置は取扱店にお尋ね下さい。

**注意** 8. 保管は、折り畳んだり、荷物の下に置くなどの負担のかかる方法は避け、ハンガーで吊り上げて保管して下さい。又、持ち運びや移動する際も同様です。保管場所は、高温多湿の場所は避けて下さい。

**注意** 9. ヒットエア-は、着用しては必ず安全である、又、安全を保障するというものではありません。また、膨脹した気室(エアバッグ)以外の場所は衝撃緩和効果はありません。

**注意** 10. ヒットエア-は、転倒や障害物との衝突などでの衝撃緩和により傷害のリスクを減らすものです。ねじれや過激な動きによる外傷については、いかなるプロテクターでも保護できませんのでご注意ください。いかなるプロテクターでも事故によるあらゆる衝撃から保護することは不可能であり、損傷に対する完全な保護を保障することはできません。

**注意** 11. バイクに取付ける伸縮ワイヤーが正しく取付けてあるか、各自チェックして下さい。不完全な場合は正常に作動せずエアバッグが膨らまない場合があります。

**注意** 12. キーボールに取付けられたワイヤーループ及び伸縮ワイヤーに、異常(ほつれ、さび、擦れ、切れ等)が確認された場合には、部品交換して下さい。

**注意** 13. ヒットエア-(エアバッグシステム)は洗濯、クリーニングはできません。

**注意** 14. フタタッチリリース(コネクタ)をはずすのを忘れてバイクから降りると、引っ張られた伸縮ワイヤーによってバイクが転倒する危険性があります。また、エアバッグが誤作動する場合があります。必ず、バイクに股がった状態でフタタッチリリース(コネクタ)をはずして降車して下さい。

**注意** 15. 着用前には、各部の破損などを自主点検してから着用して下さい。お気づきの点等あれば、取扱店にご相談下さい。

**注意** 16. アクシデントなどで作動した場合、表面に傷・破損等が見当たらない場合でも取扱店、又は、当方にて点検(メンテナンスチェック)を行ってください。

**注意** 17. ヒットエア-が常に正常な機能を維持するために、使用頻度にもよりますが、年に一回程度の定期点検(メンテナンスチェック)を取扱店、又は当方に依頼(有料)して受けて下さい。

**警告** 18. キーボックスにCO2カートリッジポンペが取り付けられていない状態では、キーボールを絶対に引き抜かないでください。ポンペが装着されていない状態でキーボールを引き抜くと、キーボックスが破損してキーボールが再セットできなくなり、また、怪我の原因となる可能性があります。ポンペが装着されていない状態でキーボールを引き抜いてしまった場合は正規販売店にご相談ください。

## キーボックスの再生作業

1. 再生に必要な工具を準備します。(写真1)

未使用のカートリッジポンペと再生に必要な工具の六角レンチとセッティングボルトを準備します。

**注意** カートリッジポンペはモデル指定のサイズをご使用下さい。

2. キーボックスにセッティングボルトを差し込みます(写真2)

キーボックスの下面にある穴にセッティングボルトを差し込み、手で締めます。きつになったら六角レンチを使用下さい。(ボルトを締める時キーボールの穴が下へ移動します)

3. 六角レンチでキーボールの穴が中心になるよう調節します(写真3)

徐々に締めていき内側の金属穴を外側穴の中心に来るように調節します。キーボールの穴が中心に来たら、キーボールをセットします。

4. キーボールをセットします(写真4)

キーボールのリングを穴に深く押し込みます。リングと穴を平行にセットします。うまく入らない場合は、セッティングボルトを緩めたりリングを爪で押し込みだりします。

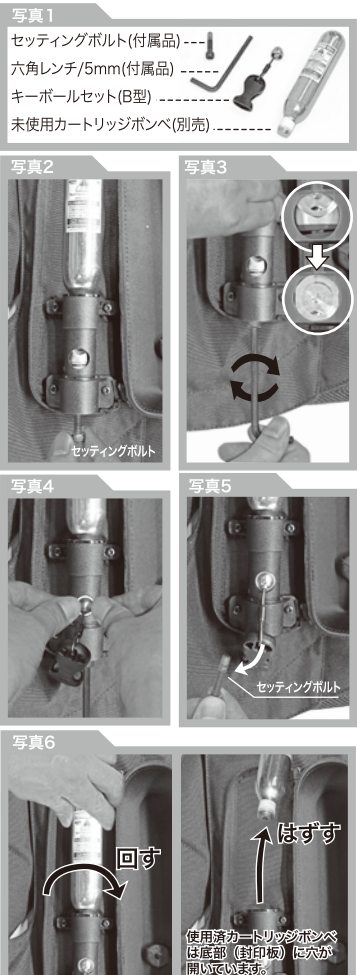
5. セッティングボルトを外します(写真5)

キーボールがセット出来たら必ず六角レンチでセッティングボルトを外します。

**警告** セッティングボルトを外し忘れるとエアバッグは膨らみません。

6. 使用済カートリッジポンペを回してキーボックスから外します。(写真6)

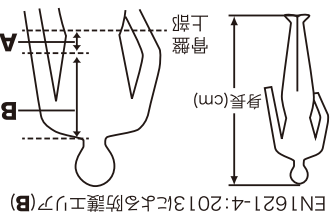
カートリッジポンペの付根はネジになっていますので、使用済カートリッジポンペを写真6の様に回しながらキーボックスから外します。



次ページへ

身長別計測位置	身長(cm)	A 骨盤から上の距離(mm)
	148	148
	152	152
	156	156
	160	160
	164	164
	168	168
	172	172
	178	178
	182	182
	188	188
	192	192
	54	54
	55	55

サイズ	MAX
XS	MAX 420mm
S	MAX 440mm
M	MAX 460mm
L	MAX 500mm



EN1621-4:2013による防護エリア(B)

正しくサイズのプロテクターを選択するためのウエア

トランクスから肩までの距離を示す図です。

ウエアサイズは骨盤上部(腸骨後)から約50mm上の部分です(A)。

身長178cmの場合は50mmです。

その他の身長は以下の表を参考にしてください。

1=レベル

FB=背中に着着する背中側のサイズを軽減するための

プロテクター

洗濯表示

乗馬認証マーク

EN1621-4:2013

Size M

CE

Model MLV2

MUGEN DENSO CO.,LTD.

hit-air

異常がある場合は、正常に作動しない場合があります。

上記を確認した上で、問題がなければ、お客様の責任に於いて再生して下さい。

○キーボックスの再生作業は、必ず再生作業の注意事項を確認して下さい。

○作動した時に、エア(ウエア)が膨らんだことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

○エアの外傷(キズ、穴)等がないことを確認する。

欧州規格EN1621-4:2013に準拠したプロテクターの表示マークの説明

CE規格

EN1621-4:2013に準拠したプロテクターの表示マークの説明